



12月22日、弘道小学校にサンタクロースがプレゼントをもってやってきました。これは、畔蛸町の家田雅和さんが「地元の子もたちのためになにかできないか」と考え、企画されたもので、一人ひとりへのプレゼントのほか、60年前の伊勢湾台風のときに学校が壊れた話などをして子どもたちと交流しました。参加した子どもたちからは「サンタさん、おかしをくれてありがとう」「昔の話をしてくれてありがとうございます。いつまでも元気に暮らしてくださいね」などと書かれた手紙が送られました。

弘道小学校にサンタがきた！



12月24日、鳥羽ライオンズクラブのみなさんが市長室を訪問し、歳末助け合い運動として会員のかたから集めた12万円を寄附していただきました。会長の寺田直喜さんは「社会福祉事業のために活用してほしい」と話し、中村市長は「みなさんの志にこたえられるように有効活用したい」と感謝の言葉を述べました。

鳥羽ライオンズクラブから寄附をいただきました



1月5日、相差町にて天狗と獅子が家内安全・繁栄を願ってまちを練り歩く、相差獅子舞神事が行われました。「やあ(家)！ほう(宝)！はっ(波)！」のかけ声にあわせて天狗と獅子が舞う「ねりこみ」は壮観で、舞い切った瞬間「うまい！」と観覧者から声があがり、大きな拍手が送られました。

相差獅子舞神事が行われました



1月3日、鳥羽高校グラウンドで毎年恒例の新春凧あげ大会が開催され、家族連れなど約300人が参加しました。これは、地域の絆をはぐくむことを目的に鳥羽市青少年育成市民会議が実施しているもので、手作り凧や園児たちが作成した連凧など、思い思いの凧があげられたほか、地域の特産品などが当たる子ども抽選会も行われ賑わいました。

新春恒例の凧あげ大会！